

ぜんしゅりきょり

2012
6月
June

通巻71号

第25回通常総会を高知で開催!!

平成24年5月22日(火)、高知で第25回通常総会が開催されました。総会の出席状況は、組合総数372名に対して、出席組合員数は出席65名、委任状出席者163名、合計228名の出席率61.2%。定款の38条に定める総会成立条件の過半数を越え、本総会は有効に成立いたしました。

午前中は6名出席による三役会、午後からは総務・広報・会員増強・事業・正常化の各委員会が開かれしました。その後理事会、ニューリーダー部会・ニューリーダー部卒業式、通常総会、役員選考委員会、第1回理事会が行なわれました。

加)は、スグチ黒潮カントリークラブ 黒潮コースで行なわれました。通常総会では西春専務理事の司会のもと、井上副理事長より開

と、このたびの公正競争規約は宗教用具業界の半分の取扱品目にしにしか影響が及びません。お仏壇以外についても今後の進め方を考える必要があります。

もう一つは、この規約は お仏壇の表示に関する規約、お仏壇の産地・寸法・材質・二重価格表示、などお仏壇のハード面に関する規約ですが、我々業界はお仏壇を求める消費者の方の精神面に深くかわる立場ですから、お仏壇を物としての面だけではなく、どのように消費者の精神面に関わっていくかが大きな課題です。

本年度は役員も代わり、全宗協の委員会も一部メンバーも変わります。今申しました事を、それぞれの委員会が課題として受け、次の事業推進に向けて取り組んでいってほしいと思います。ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。冒頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」



総会で挨拶をする小堀賢一理事長

最後に辰巳琢郎氏による講演会。夜からの懇親会では辰巳さんもお出席いただき、会員との交流を深め、1日目を終了しました。

2日目は四国のみなさまのご協力でのエクスカッションで29名参加し、楽しい時間をいただきました。同日の親睦ゴルフコンペ(17名参加)

「遠近各地からご参集いただき、四国地区の方が設営してくださったことに厚く御礼申し上げます。本年度は仏壇公正競争規約が出来、設立総会がさる5月16日に行なわれたということをお聞き及びいただいていると思います。こちらの内容について少々触れさせていただきます。

一つは、平成20年にニューリーダー部が 宗教用具業界の売上を調査をしたところ、宗教用具全体の市場規模は2800億円、その内お仏壇は半分の1400億円。これで

小堀理事長のご挨拶

本年度は役員も代わり、全宗協の委員会も一部メンバーも変わります。今申しました事を、それぞれの委員会が課題として受け、次の事業推進に向けて取り組んでいってほしいと思います。ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。冒頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

本年度は役員も代わり、全宗協の委員会も一部メンバーも変わります。今申しました事を、それぞれの委員会が課題として受け、次の事業推進に向けて取り組んでいってほしいと思います。ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。冒頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

【目次】	
P1	通常総会
P2	各委員会報告・懇親会
P3	新年度役員選出
P4	ニューリーダー部総会、卒業式
P5	ニューリーダー部の今後の方針と廣川部長ご挨拶
P6	講演会、親睦「わが心のアジャセ」のお知らせ
P7	東日本大震災人材支援ボランティア報告
P8	エクスカッション、ゴルフコンペ・事務局からのお知らせ



総会の様子



会場受付

小堀理事長のご挨拶のあと、来賓の方のご紹介がありました。

全国中小企業団体中央会 総務企画部 副部長大利滋様。

大利様は4年間、中小企業等協同組合法の運用や解釈について現実的な立場からご指導されており、総会の運営自体と見学をかねてご参加いただきました。

各委員会報告会

報告は以下の通りです。

■総務委員会 吉田光宏委員長

・全国研修会（10月18日～19日、2月2日）は無事に終了。今後も開催の予定。
・会報（年3回）を事業計画に基づき発行

■広報委員会 木本隆久委員長

・花祭り（3月27日 仏壇の日、4月8日 お釈迦の誕生日）の展開を考えていたが、活路開拓事業のスタート、3月11日の東日本大震災により予定が大きく変更された。
・昨年7月以降、活路開拓事業
・手塚治虫原作のアニメ映画「ブッダ」の協力写会は中止。

・東日本大震災の被災地の方に協力できるところとして、
第一回 去年 12月石巻市・南三陸町ボランティア
第二回 今年 4月石巻市・南三陸町ボランティアの立ち上げ

■正常化委員会 森正委員長

・4月12日公正競争規約、公正取引委員会消費者庁 認定承認



第一回理事会

・5月16日設立総会
・平成24年5月22日現在410社の加盟〔平成24年度の方針〕

- ①公正取引委員会との協力
- ②公正競争規約の研究
- ③消費者にわかりやすい表示のフォーマットの研究

・規約をわかりやすく書いてある仏壇公正競争規約ガイドブック5月16日発売

■事業委員会 池田典明委員長

・22年 活路開拓事業プロジェクトの開始
・23年 2月報告会
・23年度事業『こんな仏壇あったらいいな』震災で延期

■会員増強委員会 橋本晃一委員長

・昨年より、一般の方がアクセスしやすいホームページを検討
・全国各地の組合の会長・理事長に入会を進めている

■ニューリーダー部 前田平八氏
・京都、四国、沖縄、屋久島への遣佛使派遣
・宮城県へのボランティア

懇親会

懇親会では土佐の皿鉢料理を囲んで参加者のみなさんで親睦を深め、中盤で四国のみなさんご協力によさこい踊りのショーもありました。

懇親会の最後に辰巳琢郎氏との記念撮影、そして今回の総会開催地、四国地区の今山秀人氏から鍵の返還、次年度開催地、京滋地区の橋本晃一氏へ鍵の受け渡しが行なわれました。



京滋地区協議会へ鍵の受け渡し

四国地区協議会から鍵の返還



懇親会では辰巳琢郎氏を囲んで記念撮影をしました

新年度役員・地区協議会役員・委員会委員

平成24年5月22日、高知県高知市三翠園で行なわれた全日本宗教用具協同組合第25回通常総会第五号議案で「定款第30条に基づき、役員・委員の任期満了に伴う選挙」が行なわれました。

平成24年度から25年度に全日本宗教用具協同組合の活動を担う役員・地区協議会役員・委員会委員の方々の名簿を掲載します。



杉浦伸司氏

「幸せに暮らすための仏教」を仏壇仏具を通して広めたいと思います。



横田正登氏

広島地区の活性化に努めてまいりたいと思います。



吉本康彦氏

業界発展に少しでもお役にたてるよう努力いたします。



武田洋子氏

微力ではございますが、皆様の御指導よろしく御願ひ申し上げます。



野上嗣之氏

九州地区の一員として、お手伝いさせて頂く事となりました。今後共宜しくお願ひ申し上げます。



水野清仁氏

この組合の発展の為、努力精進するつもりでありますのでよろしくお願ひ申し上げます。

《新役員名簿》

●新理事

役職名	代表者名	役職名	代表者名	役職名	代表者名	役職名	代表者名	役職名	代表者名
理事長	小堀賢一	常任理事	佐倉弘	理事	山田宗宏	理事	神戸良司	理事	●吉本康彦
副理事長	内田長祐	常任理事	高山正	理事	廣川勝彦	理事	岸本光史	理事	●武田洋子
副理事長	三村博昭	常任理事	今山秀人	理事	山口敏雄	理事	中田信浩	理事	●野上嗣之
副理事長	池田典明	常任理事	江頭那将	理事	小長井由朗	理事	中造和夫	理事	白川十郎
副理事長	八田守立	理事・相談役	安田松慶	理事	小室健次郎	理事	山中誠人	理事	東純一
専務理事	西春貞男	理事	丸屋輝夫	理事	河田栄治	理事	濱田明彦	監事	福井明夫
常任理事	保志康德	理事	升谷昇平	理事	林恒男	理事	松谷和美	監事	本保実
常任理事	前田平成	理事	松野智幸	理事	坂新太郎	理事	●横田正登	監事	山本晴彦
常任理事	木本隆久	理事	滝田雅敏	理事	●水野清仁	理事	今浦公博		
常任理事	井上芳徳	理事	川本恭央	理事	●杉浦伸司	理事	森正		
常任理事	橋本晃一	理事	坂田晴義	理事	吉田光宏	理事	岩佐武彦		

《地区協議会役員及び委員名簿》(平成24年度～平成25年度)

●委員長

地区	地区協議会会長	地区協議会副会長	総務委員会	広報委員会	事業委員会	正常化委員会	会員増強委員会
北海道東北	八田守立	升谷昇平 丸屋輝夫	升谷昇平 藤村義郎	●保志康德 小嶋長一	丸屋輝夫 佐々木丈巳	小野隆市 兒玉高周	八田守立 佐藤仁一郎 佐藤晶洋 渡部徳章
関東甲信	前田平成	坂田晴義 山田宗宏	松野智幸	内田長祐 川本恭央	鳥居邦夫 辻幸明	山田宗宏	小森規興志 小仲正克 前田平成
北越	池田典明	本保実 木本隆久	廣川勝彦 関秀道	木本隆久 山口敏雄	●池田典明 大竹正信 星野幸博	笠原他喜男 大越則夫 岐津晃平	藤田整司 竹澤恵子 吉田竹也
東海	井上芳徳	小長井由朗 林恒男	杉浦伸司 菱田孝行	林恒夫 横井浩	小室健次郎 水野清仁	小長井由朗 坂新太郎	井上芳徳 河田栄治 水野清仁
京滋	橋本晃一	吉田光宏	●吉田光宏 刑部正巳 土屋隆保武	三浦豊隆	岸本光史	神戸良司 加茂定治	●橋本晃一 小林大介 畑正高
阪奈和兵	佐倉弘	濱田博邦 山中誠人	山中誠人 中田信浩	濱田博邦	黒沢公雄 中造和夫	佐倉弘 松谷和美	福井正彦 下村暢作
中国	高山正	今浦公博	今浦公博 本井宗明	高山正 藤田孝夫	田戸孝雄 中原博	三村博昭 横田正登	三村邦雄
四国	今山秀人	森正	木下進 松浦宏治	高井一憲 立花孝文	吉本康彦 依岡敏治	●森正 岩佐武彦	上林敏成 岸本耕三 今山秀人
九州沖縄	江頭那将	白川十郎	江頭那将	野上嗣之	東純一	白川十郎	武田洋子

ニューリーダー部総会は5月22日(火)、高知県の三翠園で11時30分から行なわれました。まず前年度ニューリーダー部の前田平八部長からご挨拶をいただきました。

議事では議長選出をし、定足数の確認、前回の議事録の承認後、議事審議に入りました。

まず前年度の事業決算、監査報告に承認をいただきました。次に平成24年度の役員選出をし、24年度の事業計画、事業予算を承認いたしました。

特に、23年度の事業報告についてここに記します。

ニューリーダー部 総会特集



今期のニューリーダー部で最大の功績をあげたのは、なんといっても遣佛使派遣ではないでしょうか。

平成23年11月～12月にかけて、京都(廣川俊輔氏、小森隆司氏、下村暢作氏、石川卓氏)・四国(吉田光宏氏、小野健一朗氏、三村竜也氏、石崎万里氏)・沖縄(可児錠二氏、滝田哲也氏、前田平俊氏、大本結氏)・屋久島(前田平八氏、川本恭央氏、神戸伸彰氏、安田元慶氏)と4班に分け、各地の「土地の風習と信仰」をテーマに研修・取材をしてまいりました。初めての試みで不安もありましたが、事故も怪我もなく、チームワークの良さにより予想以上の成果をあげ、今回のこの「遣佛使派遣」は大成功と言えるでしょう。

こちらの内容は平成24年2月22日の東京研修会(日暮里・ホテルラングウッド)にてパワーポイントでのプレゼンテーションを行い、高い評価を頂きました。

今後もニューリーダー部ならではの研修などを企画していきたい所存です。

そして、ニューリーダー部の事業ではありませんが宮城県の東日本震災人材支援ボランティアにも参加して参りました。

第1回は平成24年12月15日～18日、第2回は平成24年4月20日～22日、いずれも宮城県で漁港支援等を行ないました。

こちらは定期的に行なう予定ですので、皆様にもご参加いただけたらと思います。

NL部総会



卒業生入場

ニューリーダー部卒業式

平成24年5月22日13時より、ニューリーダー部卒業式が行なわれました。

卒業生は、魚住朋樹氏、川本恭央氏、下村暢作氏、吉田光宏氏、若林智幸氏の5名。

拍手で迎えられたあとは卒業証書及び記念品授与、部長祝辞、在部員送辞、卒業生答辞、そして拍手で卒業生を送りました。

5名にはニューリーダー部の活動において力を尽していただき、たいへん助けられました。今後は協力部員として、先輩としてアドバイスをいただき、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ニューリーダー部役員名簿

正部員氏名	会社名
部長 廣川 俊輔	(有)廣川仏壇店
直前部長 前田 平八	日本宗教用具(株)
副部長 可児 錠二	トモ工陶業(株)
副部長 木本 結	(株)木本佛具店
副部長 安田 元慶	(株)安田松慶堂
幹事 石川 卓	(株)サンメニー
幹事 石崎 万里	(株)青銅社
幹事 神戸 伸彰	(株)神戸珠数店
幹事 滝田 哲也	(株)滝田商店
幹事 林 啓嗣	(株)おにし堂.com
監事 小森 隆司	(株)こもりコーポレーション
監事 中田 宗克	(株)梅栄堂



卒業証書授与



ニューリーダー部卒業式

この度3代目のニューリーダー部部長に任命されました、北越地区(有)広川仏壇店の広川俊輔でございます。

ニューリーダー(NL)部は平成19年10月の創立以降、今年で5年目を迎えます。この5年間でNL部は、日本各地での様々な研修、勉強会を開催し、一定の成果を得て参りました。それは部員の皆様の協力はもちろんですが、初代吉田光宏さん、2代目前田平八さんという強力なリーダーシップをお持ちの部長によるところも大きく、その後を引き継ぐことに重圧を感じておりますが、あまり自分にプレッシャーを与えず、またこの度も幸いにも優秀な方々に役員について頂いておりますので2年間NL部部長として頑張っていきたいと思っております。

さて、仏具業界では公正競争規約が制定されました。なぜこの規約が制定されるのか考えるに、ご承知の通り一言でいえば“我々仏具業界への信頼の無さ”ではないでしょうか。葬儀料金が墓石と並んで売り手、買い手共に商品、製造技術の知識が不足している特異な商品とは言え、料金体系や内訳の不明瞭さ、大幅な値引きや値下げといった価格そのものへの不信感、スペックと表示の不一致による商品そのものへの不信感、またそれを承知で販売するお店への不信感などが原因でしょう。規約の制定によりこれらが透明化され、合わせて我々販売者も商品知識はもちろん、より一層の信頼感が求められることとなるでしょうし、既に販売、接客の方法も変わってきております。

我々NL部は創立以来、産地研修や講演会等で技術や技法、また経営に関する実務的なことを学んできました。もちろん今後も継続的にそのような研修、勉強会は続けていく所存ですが、商いにとってこれからはいかにお客様の心に近づけるか、掴めるか、またお客様が宗教用具に何を求め、何を得たいのか、そういった心の声を敏感に感じ取れるかが、ご縁を結ばせて頂くカギになるかと考えます。

また私個人が思うに、宗教用具を扱う以上それに見合った人間でなければならないと思っております。清廉潔白、聖人君子、うしろめたいことなど一つもない、このような人間は世の中に一人として存在しませんが、そのような

人間であらねばと努力はすべきと思っております。揺るぎの無い心が揺らぎの無い商いを生み、その結果お客様の信頼を勝ち得ると考えます。

以上を踏まえ今年度NL部は精神、感性といった心の部分、私はこれを“人間力”と名付けましたが、この人間力を磨いていきたいと思っております。折しも東日本大震災の発生以降、“絆”という字に代表されますように、家族、土地などへの繋がり、心の繋がりというものが見直されてきています。我々の扱っている宗教用具はそういった“絆”、“繋がり”を感じる事の出来るものであります。人間力を磨くことによりお客さまとも精神的繋がりを得られるのではと思っております。インターネットやメールが当たり前の時代ですが、最後は“生のふれあい”が大切であると考えます。皆さまも長年の商売の中でこのような繋がりを得られたお客様とは良い商いが出来たという御経験があるかと思っております。

次に、話は変わりますが、組合員の皆様にお願いがございます。本年度NL部は5名の卒業生を送り出しました。5名の方には今後も協力部員としてご協力を賜りたいと思っておりますが、現在NL部は正部員45名、協力部員16名、合わせて61名でございます。正部員の早急な増強は必須であります。まだNL部に入部されていない方がおいでなら、是非入部をお願い致します。合わせまして、入部して頂くだけでなく、是非研修会にご参加頂くようお願いいたします。遠方の方もいらっしゃいます。交通費がかかります。またそのお立場上、役職上お忙しいのも重々承知しております。毎回とは申しません。年1回だけでも結構です。NL部の活動は必ず将来の役に、いえ今現在の役に立ちます。もちろん行って良

かった、参加して良かったと言って頂けるような企画運営を心がけてまいります所存でございます。

今年度全日本宗教用具協同組合ニューリーダー一部は、業界のニューリーダーとして成長できるよう、今まで以上に部員一同が共に学び、共に未来に向かって進んでいきたいと思っております。その為に魅力ある、また楽しさのある研修会・見学会・研究調査等の企画、運営を心掛けて参りたいと思っております。何卒、宜しく願い申し上げます。

NL部の今後の方針と廣川部長ご挨拶

ニューリーダー部部長 廣川 俊輔氏





司会の依岡ゆみさん(株式会社よりおか)と辰巳琢郎さん

辰巳琢郎さんによる講演会

高知県観光特使であり、昨年からは観光庁アドバイザーに就任、最近ではNHK朝の連続テレビ小説「カーネーション」に出演され、他、クイズ番組、ワイン番組、リフォーム番組等、様々な分野で活躍中の辰巳琢郎さんの講演会。前半は講演、後半は参加者の質問にお答えする形式で大変盛り上がりしました。

●辰巳琢郎さんと高知との関わりを最初にお話していただきました。

2009年にエンジン01オープンカレッジというイベントで文化人が高知に集まり、その時高知県知事のお申し出により、高知県観光特使に指名され喜んで就任したそうです。高知県といえば、食べ物もお酒も美味しく、お酒の強い方も多いので、お酒の好きな辰巳琢郎さんは歓迎され、毎晩午前様に…。高知の方の県民性については、ゆったりしていて鷹揚で、かなり保守的。でもあまりあくせくしない、豊かで明るいという印象をもっておられました。宴会のおもてなし文化が発展しており、本当に楽しいところだということ、笑顔で語っていただきました。みなさんにも、ぜひ高知の良いところを満喫してほしいそうです。

●震災後訪問された東北のお話もしていただきました。

辰巳琢郎さんの東北地方の第一印象は、予想以上にひどい地域もあれば、予想以上に復興しているところもあり、地域差があったということです。東北地方の三陸地区は、夏でも冷たい風が吹き、作物にも被害を与える大変な地域です。中央から遠い場所、忘れられた場所、そういう地域に地震・津波が襲いました。東北と言っても一括りにはできないということ、沈痛な面持ちで語っていらしたのが印象的でした。

神社の話では、津波が襲った後、家がどこにあるのかわからない状態でもほとんどの神社が残ったという事実。神社は小高い丘や高台に建てることを、古来より人間はわかっていたのではないかと、お話しされていました。

辰巳琢郎さんには、この後の懇親会にも出席していただき、会員のみなさんと懇談し、記念撮影もしていただきました。ありがとうございました。

親鸞聖人750回大遠忌記念公演

創作劇『親鸞 わが心のアジャセ』 親鸞を真実に目覚めさせた壮大ないのちと絆の物語

〔脚本・演出〕 齋藤雅文

〔出演〕 川崎麻世・音無美紀子ほか

仏典－王舎城の悲劇の物語を豪華キャストで舞台化！

仏典物語 王舎城の悲劇の物語で、今から約2500年前、お釈迦さま73歳の時、インドで実際に起こったアジャセ王の殺害父母のお話です。750年前の親鸞聖人とアジャセ王がダブルキャストという特異な設定も注目されました。

本作品は、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人のご遺徳を忍びながら、門信徒の皆様はもとより、広く一般の人々に優れた演劇文化を通して、宗祖のお心に触れていただくことを目的として作られたものです。

2010年3月、親鸞聖人750回大遠忌中国ブロック記念公演として上演され、満堂の喝采を浴びました。

<http://shinshucore.net/ajase/>

※日時、チケットの詳細は同封の用紙をご覧ください。

●出演者のお二人より貴重なコメントをいただきました●

このお芝居で親鸞聖人とアジャセの二役を演じさせていただきました。人間には皆、苦悩や煩惱があります。親鸞様が人としてその苦悩に遭われたとき心の中にあるアジャセ王に問いかけました。犯した罪を反省していくアジャセ王の人間的な姿に共感を覚えます。今の時代でもう一度再認識しなければいけない家族の大切な『絆』。そんなテーマがこの作品の中にはあります。この素晴らしい作品に出逢いそして演じる事ができてほんとうに光栄に思っております。

(川崎麻世さん)

2500年前のインドを舞台に私はアジャセ王の母親イダイクを演じます。子が喜ぶ姿を見て親はその何倍も喜び、苦しむ姿を見る時その何十倍も苦しむのです。これは、いつの世も変わらぬ親と子の究極の愛の物語です。一昨年、広島での公演に満場のご来客を頂き、いよいよ東京での公演が実現です。是非ご来場をお待ち申し上げます。

(音無美紀子さん)



※2010年3月広島公演での写真です

社会貢献事業 第2回 東日本大震災人材支援ボランティア報告

事業内容

- 目的：被災地における行政の手が入らない個人宅等へのボランティアを実施する
- 作業内容：寺院清掃・ワカメ養殖復興補助作業
- 作業対象：宮城県石巻市 西光寺・宮城県南三陸町 ボランティアセンター

行程

4月20日(金)	21:00	ホテル事前レクチャー
21日(土)	6:00	ホテル出発
	9:00	南三陸町ボランティア
		午前・午後 わかめ養殖補助
	17:00	石巻市 西光寺着
		近郊の銭湯で入浴
	21:00	西光寺本堂で就寝
22日(日)	7:00	起床
		西光寺ボランティア・被災地視察
	12:00	終了
		JR松島駅・仙台駅解散

参加者

川本 恭央	(有)川本商店	炭元 健志	(株)本保
前田 平八	日本宗教用具(株)	北本 貴士	(株)本保
山田 毅	(有)河内屋	桑原 侑希	(株)JA東京中央セシモニーセンター
河内 亜貴	(有)河内屋	篠崎 誠一	(株)JA東京中央セシモニーセンター
蔵元 幹生	森正(株)	柳澤 篤史	(株)JA東京中央セシモニーセンター
森 博昭	森正(株)	吉田 光宏	吉田治市商店
齊陽 大介	(株)金宝堂	下野 良彰	吉田治市商店
坂下 智治	(株)金宝堂	森 愛	森正(株)
鈴木 一彦	(株)保志	森 早紀恵	森正(株)
永田 純一	(株)保志	河野 諭香	(有)河野佛具
保志 充輝	(株)保志	河野 有美	(有)河野佛具
式部 勇輝	(株)本保	木本 結	(株)木本佛具店
前 利宏	(株)本保		



ボランティア参加者



ワカメの収穫作業のお手伝い



南三陸町防災対策庁舎前



西光寺本堂にて。即興でライブをしていただきました

お願い

2回のボランティアは皆様からの支援金で行かせていただいております。第3回を行うために再度、支援金をお願いします。

『私たちは忘れない』この言葉を合言葉に行動していきます。

らも気張らずに足を運びます。

ボランティアに来ていてるようで実は被災地から多くの宝を頂いています。短い時間ですがボランティアを通して参加者間の絆も生まれこれか

11時から石巻の被災地視察、その後12時から西光寺住職よりご法話をいただきました今回のボランティアを終了いたしました。

翌日は本堂の賽銭箱の清掃をさせていただきました被災地から開けていなかったため、賽銭箱の中は当時の泥がそのまま中からお賽銭を拾い綺麗に洗わせて頂きました。メーカーの方々が活躍でした。

「前を向いて歩こう」(上を向いて歩こうの編曲)は全員で大合唱、心がひとつになりました。

翌日21日は6時にホテル前に集合、一路南三陸町へ向かい8時30分に現地に到着、仙台とあまりに違う被災地の状況にバスの中は静まり返りました。最後まで避難を呼びかけ亡くなられた市職員の女性がいた防災センターでご冥福をお祈りさせていただきその後、ボランティアセンターへ受付、割り当てられた漁場に向かい、今回の割当であるワカメの収穫作業をお手伝いいたしました。家、船が流された話を笑顔でしながら指導してくれる漁師さんのもと、ひとつひとつ丁寧にワカメを選別したのですがこのワカメがお金となり復興となる作業に緊張しながら行いました。又、前回参加した方は、ワカメの芽づけでありましたので育ったワカメに嬉しさ倍増でした。短い時間でしたが帰りに沢山のワカメをお土産にいただき、また来ることを約束して石巻市に向かいました。

4月20日、東松島のホテルに全員が集合し、21時より事前レクチャー(心によりそうボランティア)・自己紹介を行いました。今回は、組合員葬儀店の従業員の方々も参加、まさしく信仰産業という大きな枠で行う事ができました。レクチャー終了後、軽くホテルの居酒屋で懇親を深めた後就寝しました。

多くの宝を頂いたボランティア活動報告

オフショナルツアー

幹事 (有)吉本共栄堂 吉本 康彦氏

参加者29名でのエクスカーションは9時に三翠園を出発し、桂浜：高知県立坂本龍馬記念館、坂本龍馬像→高知城→「龍馬伝」幕末志士社中というまさに「太平洋と龍馬に出会う高地1日観光」でした。昼食は桂浜のすぐ近く、活伊勢えびの老舗料理旅館「富久美味」にて伊勢えび釜煮、鯉のタタキなど海の幸と、人気の土佐ジローの卵かけご飯を堪能しました。



鯉の葉焼き実演。焼きたての鯉を味わいました



桂浜・坂本龍馬像前にて



ゴルフコンペ参加者で記念撮影

親睦ゴルフコンペ

幹事 すゞや(株) 上林 敏成氏

Kochi 黒潮カントリークラブで行なわれた親睦ゴルフコンペ（新ペリア方式）は天候にも恵まれ17名に参加いただきました。

黒潮コースは上級者向きではありますが、ダイナミックなコースで豪快なショットの連発。

大いに盛り上がり参加者との親睦も深まりました。

優勝は今浦公博さん（山口県・(有)今浦仏具店）、準優勝は松浦宏治さん（徳島県・(有)仏壇工房まつうら）、三位は河田栄治さん（愛知県・(株)浄華）です。

事務局からのお知らせ

1. 当面のスケジュール

平成24年8月22日(水) 役員会（急な案件が無ければ開催を見送る）

2. 組合員数

平成24年6月8日現在 368名

3. 組合関係者の訃報（平成24年1月4日～24年6月8日）

（阪奈兵和地区）

多宝堂社長（弦巻哲雄様）ご本人 5月2日 65歳

（東海地区）

(有)愛知屋総本店 代表取締役（濱島賢祐様）ご本人 5月27日 71歳



4. 仏壇仏具ガイダンスver3.0が販売開始されました。

多数の方がご利用くださいますようお願いいたします。

